

「Do you know 能？」第八弾

～ガイドなら一度は観ておきたい能楽～

「コロナに負けるな！応援価格」にて

2021年1月9日（土）実施

JGA 第一支部研修 終了レポート

JGA の能楽研修も今回で8回目を迎えました。当初講師をお願いしていた観世流シテ方能楽師の宮内美樹師が昨年11月に急逝され、またコロナ禍で遠方からのご参加が難しくなり、首都圏に緊急事態宣言が発出されるなど、色々な困難がありました。が、幸い講師は観世流シテ方能楽師の伶以野陽子師が引き受けてくださいました。また、独立行政法人日本芸術文化振興会 国立能楽堂様が、ご厚意で直前までキャンセルを受け付けてくださいました。お陰様で、無事に研修を実施することができ、23名（正会員22名、運営委員1名）が参加しました。

当日は第一部：能楽講義と能舞台体験、第二部：能楽普及公演鑑賞という構成で、まずは研修



能舞台に集合、蜜を避けて各自離れて着座。国立能楽堂の方のご挨拶に続き、伶以野陽子師がきりりとした紋付と袴姿で登場され、レクチャーが始まりました。海外の方が能楽のどこに感動されるか、訪日客にどのように能楽の魅力をお伝えするか、能楽をよりご理解し楽しんでいただくための説明のコツや、能楽の要素、歴史、特徴、能楽と人形浄瑠璃、歌舞伎との関係、また当日の演目の内容や楽しみ方まで、非常にわかりやすく教えてくださいました。

次に能の基本姿勢と歩き方、簡単な所作を習い、3グループに分かれて研修能舞台にて動きを実践。通常は能の面をつけて視界の狭さなどを実感するのですが、今回は各自面の目の穴サイズの隙間を手で作って目に当てて周囲を眺め、舞台の見え方を確認。目付柱の重要性がわかりました。通常は研修では最後に質疑応答の時間を設け、大いに盛り上がるのですが、今回は感染防止のため、質問は会誌トラコンの報告書を担当くださる方のみ、他の方の質問は終了後にメールでの受け付けとなりました。



研修終了後、希望者20名は能楽堂内の向日葵で昼食。いつもは大いに語らい交流を楽しむのですが、今回は極力私語を避け、静かなひと時となりました。開演までは各自売店を覗いたり資料室（現在の展示テーマは「勸進能」）を見学して過ごしました。

午後はいよいよ第二部の能楽の舞台鑑賞です。歌人の梅内美華子女史の解説に続き、狂言「昆布売」（善竹隆平：大蔵流）。場内は笑いに包まれました。次いで能「雲林院」（武田宗和：観世流）。最近その魅力が改めて見直されている伊勢物語に題材を取った夢幻能です。参加者はその雅で幽玄な世界に浸りました。お客様を能楽鑑賞にご案内する機会はありません



いかも知れませんが、それだけに、いざという時、実際の経験に基づいた生き生きとした言葉で、能楽の魅力をお伝えできるようになりたいものです。

今回は国立能楽堂様に非常にお世話になりました。

研修は大変好評で、参加者からとても面白かった、大変勉強になった、感動した、参加して本当に良かった、とのご感想をいただきました。